

日本の宝島“天草”の創造を目ざして！



あまくさ 市議会だより

第12号

2015(平成27年)

5.15



本渡はまゆう保育園
～交通安全教室～

主な内容

- 各種団体と意見交換会を開催!! …… p 2～3
- 一般会計予算の主な事業…………… p 6～7
- 一般質問…………… p 10～13

平成27年第1回定例会会期日程

- 3月 2日 本会議／開会、施政方針・市長提出議案の
上程及び説明
- 3月 3日 当初予算説明会
- 3月 6日 本会議／市長提出議案の質疑及び
委員会付託
- 3月 9日 市民生活委員会・建設経済委員会
- 3月11日 総務政策委員会・教育厚生委員会
- 3月16日 本会議／一般質問
- 3月17日 本会議／一般質問
- 3月20日 本会議／委員長報告・質疑・討
論・採決、閉会

各種団体 × 市議会

各種団体と意見交換会を開催!!

天草市議会では、平成22年4月に、議会の活性化を目指し、「議会改革調査特別委員会」を設置し、同24年3月に議会基本条例を制定しました。

策定した議会基本条例に基づき、議会報告会の開催、広報広聴委員会による議会だよりの発行、当初予算説明会や議員全員による政策討論会等を実施してきました。議会報告会については、同25年度に市内24会場にて地区振興会単位で開催し、664名の市民の皆さまにご参加いただきました。

同26年度については、同特別委員会における協議の結果、新たな試みとして、「各種団体との意見交換会」を開催することを決定し、1月から2月にかけて6団体との意見交換会を実施しました。

ここでは、意見や要望等の一部について紹介します。

(教育)天草市PTA連絡協議会

- ①学校統廃合に伴う通学距離、時間の延長について
- ②小学校の運動部活動について
 - スクールバスのバス停の問題で、場所によっては親が負担して設置した経緯がある。市からの補助はできないのか。
 - このような会議を開催していただき有り難い。定期的で開催してほしい。
 - 不審者等の問題が出ている。児童・生徒の安全のためにも防犯灯や防犯カメラの設置、防犯パトロールに行政が支援してほしい。
 - 運動部活動が廃止された場合、地域スポーツクラブがある地域は良いが、種目によって他の地域へ移動しなければならない場合は、送迎が大きな課題である。

2月24日

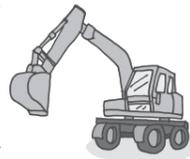


2月25日



(建設)(一般社団法人)熊本県天草地区建設業協会

- ①公共工事の品質確保の促進に関する法律・建設業法・公共工事の入札及び契約の適正化の促進に関する法律の改正について
 - 近隣自治体と比べれば、天草市は制度的な改革に前向きである。
 - 業界内でも意見が分かれるところではあるが、指名における地域性重視はいかなものか。
 - 余裕期間を見込んだ早期契約制度の運用については、良い制度であるので、今後も継続してほしい。
 - 年間を通して、仕事が平準化していることが大切なので、できる限り安定した発注を願う。



2月25日



(福祉)天草市地域婦人会連絡協議会

- ①女性の視点からの地域づくりについて
 - 婦人会の活動は、会員が少なくなってもやっていかなければならない。
 - 市役所・議員の妻の会員が少なすぎる。
 - 婦人会のモットーはできる人ができるところでできるだけ。
 - 婦人会で頑張っていると、その活動を知って参加してくれる人も多い。
 - 女性だからとの理由で、さまざまな打診を断っていると、女性の道は拓けない。



1月30日



(農林水産)あまくさ農協・本渡五和農協

- ①果樹選果場の老朽化と生産の減少に伴う統一選果場建設について
- ②老朽化した共同施設の処理費用について
 - 営農指導員不足は課題である。指導員を雇うために補助金を。
 - 気候温暖化により、露地栽培は厳しい現状である。地方創生資金を活用し、耐久ハウスの導入を。
 - 高齢者が所有する農地をどのように守り活用するかが課題。



1月29日



(観光)(一般社団法人)天草宝島観光協会

- ①観光と地域振興について
 - 入込客数について、3年後には400万人を目標にしている。長崎県と連携し、島原から天草へ観光客を呼び込みたい。
 - 崎津集落が世界遺産になっても、天草がひとつにならなければリピーターは増えない。
 - 観光協会と地域、旅館、商店との連携は、各支部に任せているが、接点不足であるので、接点を探っていく。



2月10日



(商工)本渡商工会議所・牛深商工会議所・天草市商工会

- ①地方創生について
- ②起業創業・中小企業支援センターについて
 - 震災後、東京への一極集中が加速。九州は福岡へ。熊本は熊本市へ。天草は本渡へ集中。中心商店街が縮小傾向である。
 - 大型店の規制緩和以来、地元の商店が生き残る環境にない。
 - 空き家対策が急務である。



意見交換会を終えて…

各種団体の皆さまと直接対話し、さまざまなご提言やご意見を拝聴できたことは、今後の議会活動において、大いに参考となるものでした。ご提言やご意見につきましては、議会全体で共有を図り、市民の皆さまにとって身近な議会としての役割を果たせるよう研鑽に努めます。意見交換会については、今後も開催していく予定です。どうぞ、よろしくお願いいたします。

平成27年度第1回天草市議会定例会の提出議案一覧

議案番号	件名	付託先委員会	議決の結果
議第 26 号	天草市子ども子育て支援事業計画の策定について（子ども子育て支援新制度の施行に伴い、今後5年間の計画を策定するもの。）	教育厚生	原案可決
議第 27 号	天草市高齢者保健福祉計画・天草市介護保険事業計画の策定について（平成27年度から29年度までの計画を策定するもの。）	教育厚生	原案可決
議第 28 号から 議第 79 号まで	指定管理者の指定について（本渡南地区コミュニティセンター ほか51件の指定管理者を指定するもの。）	総務政策	原案可決
議第 80 号	指定管理者の指定について（倉岳椎茸生産施設の指定管理者を指定するもの。）	建設経済	原案可決
議第 81 号	交通事故に係る損害賠償の額を定めることについて（市職員が市内県道を公用車で移動中、シャーベット状になった積雪にハンドルを取られ、落石防護柵に衝突し、その支柱に損傷を与えたもので、損害賠償の額を決定するもの。）	総務政策	原案可決
議第 82 号	公有水面埋立免許に関する意見を述べることについて（県道本渡・牛深線の久玉町中浦橋付近の護岸構造物等の改修に伴い、公有水面埋立て許可に関する意見を述べるため、議会の議決を求めるもの。）	建設経済	原案可決
議第 83 号	平成26年度天草市一般会計補正予算（第9号）	各所管	原案可決
議第 84 号	平成26年度天草市特定環境保全公共下水道事業特別会計補正予算（第3号）	市民生活	原案可決
議第 85 号	平成27年度天草市一般会計予算	各所管	原案可決
議第 86 号から 議第 102 号まで	平成27年度天草市特別・企業会計予算（国民健康保険特別会計など17件）	各所管	原案可決
議第 103 号	工事請負契約の締結について（天草市汚泥再生処理施設建設工事に係る契約を三井造船環境エンジニアリング・吉永・北時特定建設工事共同企業体と締結するもの）	総務政策	原案可決
議第 104 号から 議第 106 号まで	固定資産評価審査委員会委員の選任について（平田徳雄氏〔北浜町〕、松本直人氏〔牛深町〕及び高濱みづ子氏〔有明町〕の3名をそれぞれ選任。）	付託省略	同意
議員提出第1号	天草市議会委員会条例の一部を改正する条例の制定について（出席説明の要求を教育委員会の委員長から教育長に改めるもの。）	付託省略	原案可決
議員提出第2号	地方財政の充実・強化を求める意見書の提出について	付託省略	原案可決
議員提出第3号	集団的自衛権行使を容認する解釈変更を行わないことを求める意見書の提出について	付託省略	原案可決
議員提出第4号	年金積立金の専ら被保険者の利益のための安全かつ確実な運用に関する意見書の提出について	付託省略	原案可決

報告 2件
市長提出議案 106件（条例 22、その他の議決事項 61、予算 20、人事案件 3）
議員提出議案 4件

■3月定例会 一般会計・特別会計補正予算

※金額は万円未満を四捨五入しています。

一般会計補正予算 **2億891万円の増額**
特別会計補正予算 **8,000万円の減額**

よって、平成26年度の最終的な予算総額は、

一般会計 **545億4,753万円**
特別会計 **310億1,075万円**

となりました。



※特別会計とは？

行政（天草市）が、特定の事業を行う場合、特定の歳入（保険料・使用料等）をもって特定の歳出に充て、一般会計の歳入歳出と区分して経理するもの。国民健康保険・介護保険・後期高齢者医療・下水道事業・簡易水道事業などが該当します。

議案番号	件名	付託先委員会	議決の結果
報告第1号	専決処分事項の報告について（交通事故に係る和解及び損害賠償の額を定めるもの。）		
報告第2号	専決処分事項の報告について（交通事故に係る和解及び損害賠償の額を定めるもの。）		
議第1号	天草市行政手続条例の一部を改正する条例の制定について（行政手続法の一部改正に伴い、条例を改正するもの。）	総務政策	原案可決
議第2号	機構改革に伴う関係条例の整備に関する条例の制定について（組織機構の見直しに伴い、条例を改正するもの。）	総務政策	原案可決
議第3号	地方教育行政の組織及び運営に関する法律の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整理に関する条例の制定について（教育長の身分が常勤の特別職となるなど法律の一部改正に伴い、条例を改正するもの。）	総務政策	原案可決
議第4号	天草市非常勤職員の報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例の制定について（天草アーカイブズ館など6つの館長の報酬額に関する規定、教育委員長の報酬の額に関する規定を削除するもの。また、いじめ防止関連附属機関の委員の報酬額に関する規定を追加するもの。）	総務政策	原案可決
議第5号	天草市立天草アーカイブズ条例の一部を改正する条例の制定について（館長職を職員が兼務するため、条例を改正するもの。）	総務政策	原案可決
議第6号	天草市消防団員等公務災害補償条例の一部を改正する条例の制定について（次代の社会を担う子どもの健全な育成を図るための次世代育成支援対策推進法が昨年改正され、関係政令の整備に関する政令を受けたため、条例を改正するもの。）	総務政策	原案可決
議第7号	天草市長期継続契約を締結することができる契約を定める条例の一部を改正する条例の制定について（保守管理や清掃業務など、継続サービスの項目を追加するため、条例を改正するもの。）	総務政策	原案可決
議第8号	天草市総合政策審議会条例の制定について（総合計画及び行財政改革大綱について、総合的に審議する付属機関を新たに設置するため、条例を制定するもの。）	総務政策	原案可決
議第9号	天草市ふるさと応援寄附条例の一部を改正する条例の制定について（速やかに寄附金を活用するため、条例を改正するもの。）	総務政策	原案可決
議第10号	天草市地区コミュニティセンター条例及び天草市町民センター条例の一部を改正する条例の制定について（下田北地区コミュニティセンターの小会議室を地区振興会事務室として使用することに伴い、条例を改正するもの。）	総務政策	原案可決
議第11号	天草市体育館条例等の一部を改正する条例の制定について（新合体育館を、現在の位置から旧新合小学校体育館へ変更するもの。旧御所浦北小学校体育館を社会体育施設として、また、立浦運動広場など4つの施設について、社会体育施設としての位置付けを廃止するもの。）	総務政策	原案可決
議第12号	天草市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の利用者負担に関する条例の制定について（子ども・子育て支援新制度が施行されることに伴い、新たに条例を制定するもの。）	教育厚生	原案可決
議第13号	天草市介護保険条例の一部を改正する条例の制定について（平成27年度から29年度の保険料を設定するため、条例を改正するもの。）	教育厚生	原案可決
議第14号	天草市指定介護予防支援等の事業の人員及び運営並びに指定介護予防支援等に係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について（関係する厚生労働省令による運営基準等の一部改正に伴い、条例を改正するもの。）	教育厚生	原案可決
議第15号	天草市指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について（関係する厚生労働省令による運営基準等の一部改正に伴い、条例を改正するもの。）	教育厚生	原案可決
議第16号	天草市指定地域密着型介護予防サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について（関係する厚生労働省令による運営基準等の一部改正に伴い、条例を改正するもの。）	教育厚生	原案可決
議第17号	天草市福祉会館条例の一部を改正する条例の制定について（引用する法律名の変更に伴い、条例を改正するもの。）	教育厚生	原案可決
議第18号	天草市建築基準条例の一部を改正する条例の制定について（建築基準法の一部改正に伴い、条例を改正するもの。）	建設経済	原案可決
議第19号	天草市手数料条例の一部を改正する条例の制定について（住宅の品質確保の促進等に関する法律及び建築基準法の一部改正に伴い、条例を改正するもの。）	建設経済	原案可決
議第20号	天草市教育長の職務に専念する義務の特例に関する条例の制定について（地方教育行政の組織及び運営に関する法律の一部改正に伴い、新たに条例を制定するもの。）	教育厚生	原案可決
議第21号	天草市いじめ問題対策連絡協議会等設置条例の制定について（いじめ防止関連附属機関を設置するため、条例を制定するもの。）	教育厚生	原案可決
議第22号	天草市立学校給食センター条例の一部を改正する条例の制定について（倉岳学校給食センターを栖本学校給食センターへ統合するため、条例を改正するもの。）	教育厚生	原案可決
議第23号	第2次天草市総合計画基本構想及び前期基本計画の策定について（平成27年度から平成34年度までの基本構想、平成27年度から平成30年度までの前期基本計画を策定するもの。）	総務政策	原案可決
議第24号	新市建設計画の変更について（平成32年度まで期間を延長し、計画の内容を変更するもの。）	総務政策	原案可決
議第25号	天草広域連合の処理する事務及び規約の一部変更について（天草広域連合が処理する事務を変更するもの。）	総務政策	原案可決

一般会計予算 527億7,282万円
 特別会計予算 315億1,070万円

一般会計予算の主な事業

●御所浦地域振興対策事業

■離島高校生修学費支援事業 1,201万円

●通学費補助…529万円

御所浦～棚底利用

(月額12,000円×12か月×21人)

御所浦～本渡利用

(月額18,000円×12か月×9人+下宿等からの
変更見込分9,000円×12か月×3人)

●下宿等経費の補助…672万円

(月額10,000円×12か月×56人)

■御所浦定期航路運賃割引事業補助金 6,411万円

御所浦島民を対象に定期航路の船賃をバス並みに軽減するとともに、フェリー料金については約30%軽減する。

■御所浦航路利便性強化事業補助金 292万円

御所浦～棚底間の定期船の始発前と終発後に各4便(2往復)の運航に対して補助する。



■国民健康保険診療施設・

歯科診療所特別会計繰出金 1億288万円

御所浦診療所、北診療所及び歯科診療所の医師確保、医療機器の整備等にかかる運営経費について、診療収入をもってなお不足する額を一般会計から繰り出す。

●スポーツ大会誘致補助金 300万円

- 県大会規模以上のもので、選手・監督・役員が市内の宿泊施設に延べ500泊以上となるものが対象。
- 補助金額 ①県大会:30万円 ②九州大会:60万円 ③全国大会:100万円

●天草エアライン航空機更新事業

21億3,945万円

天草エアラインは、天草地域における唯一の高速交通機関であり、天草地域の経済・観光・地域振興に欠くことのできない空路を維持するため航空機の更新にかかる購入費を補助する。



●健康ポイント事業 906万円

運動を習慣化させることで、生活習慣病の予防を推進し、健康寿命の延伸、医療費の削減を目指す。また、地域商品券を交付し、地元商店街等での個人消費の拡充を図る。

実施期間：平成27年7月1日～12月31日

対象者：市内に在住、在勤または在学する18歳以上の者



●成人健康診査事業 2億1,950万円

健康診査を受診することにより疾病の早期発見・予防・治療につなげるとともに、健康な身体を維持し、医療費の抑制と健康寿命の延伸を図る。

人間ドック健診の対象者は、天草市国保加入者で35歳～69歳までの2歳刻み年齢(平成27年度は、2歳・3歳刻み年齢)。

●臨時福祉給付金事業 2億176万円

消費税率引上げの影響等を踏まえ、低所得者層に対する適切な配慮を行うため、暫定的・臨時的措置として昨年度に引き続き支給を行う。一人につき6,000円。

●子育て世帯臨時特例給付金 3,756万円

消費税率引上げの影響等を踏まえ、子育て世帯に対して、臨時特例的な給付措置を行う。支給対象児童一人につき3,000円。

●路線バス運行維持の補助金 3億円

地域の生活交通として必要な路線バスの運行を維持するためのバス会社への補助金。

平成26年4月より初乗り運賃が130円から150円に値上がりしました。

年度	利用者数
平成23年度	48万7,300人
平成24年度	47万1,200人
平成25年度	46万1,700人
平成26年度	43万 600人



●祭り(イベント)に対する補助金 5,976万円

- 天草本渡ハイヤ祭り 1,275万円
- 牛深ハイヤ祭り 1,280万円
- 牛深あかね市 611万円
- さぎ波フェスタ 678万円
- 御所浦よかこ祭 44万円
- 倉岳えびす祭り 85万円
- 栖本かつぱ祭り 213万円
- しんわ楊貴妃祭り 291万円
- しんわサマーフェスティバル 106万円
- 下田温泉祭 291万円
- 福連木子守唄&童謡祭り 176万円
- あったか天草椿まつり 97万円
- 崎津みなとのフェスティバル 106万円
- あまくさロマンティックファンタジー 320万円
- 世界サンタクロース会議 400万円



●新規就農者支援事業 2,369万円

就農に必要な費用に対して支援することで、新規就農者の育成・確保を図る。また、I・J・Uターン者等に対し、実践的な研修の機会を提供し、移住定住者の受入れによる人口増加及び就農人口の増加を図る。

事業名	対象要件		給付額	研修期間
	項目	年齢		
①新規就農者支援事業	新規参入者 他産業からのUターン者	43歳～65歳	年額150万円	1年以上 2年以内
②IJU(移住)者就農支援事業	I・J・Uターン者等 他産業からのUターン者	65歳未満	年額72万円	6ヶ月～ 1年以内
③新規就農者給付金事業	独立・自営就農者 人・農地プラン中心経営体	45歳～65歳	年額上限150万円	最長3年

※45歳未満の新規就農者は、青年就農給付金(経営開始型)として、給付金を受けることができます。

●新規就漁者支援事業 317万円

Iターン、Uターン者や漁業未就業者を対象に、市独自で年齢制限や研修頻度を緩和した研修制度を設け、新規漁業就業者の確保を図るもの。今年度は2名を予定している。

●有害鳥獣対策事業 7,692万円

- イノシシ捕獲報償金(8,000円/1頭)
- 防護柵設置補助金(事業費の1/2 上限40,000円)
- 狩猟免許取得補助金(事業費の1/2 上限10,000円)
- イノシシ用箱罠設置補助金(事業費の1/2 上限35,000円)
- 鳥類捕獲報償金(2,000円/1日)

	平成24年度	平成25年度
イノシシ捕獲頭数	4,879	5,417
防護柵設置件数	501	606
狩猟免許取得件数	12	34



●天草ブランド推進事業 3,776万円

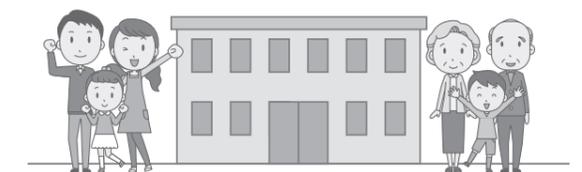
天草の優れた製品のブランド化を図るとともに、天草地域自体のブランド化を推進する。また、(仮称)天草宝島物産公社を設立し、販路の開拓と天草ブランドの確立を図る。



●コミュニティセンター管理運営事業

2億2,770万円

各町、地区の拠点となるコミュニティーセンターの管理運営費用で、平成27年度は52施設。



3月6日の本会議で付託された案件(条例22件、補正予算20件、その他64件)を4つの常任委員会で審査しました。委員会審査における主な質疑とその答弁等について紹介します。

条例及びその他の議決事項

議第4号

非常勤職員の報酬及び費用弁償に関する条例改正について

問 各館の館長職について。
答 これまで図書館、天草文化交流館で市職員が館長を兼務している。天草アーカイブズ、天草キリシタン館、本渡歴史民俗資料館、天草コレジヨ館、天草ロザリオ館、天草文化交流館、以上6館の館長職も、4月から市の職員が兼務する。

議第9号

ふるさと応援寄附の条例改正について

問 4月からの寄附者へのお礼品の取扱者及びお礼品について。
答 平成26年12月に募集し、1社を選定し、お礼品の内容については、メニューを30品目以上作る。地域コミュニティへの寄付金は、まちづくり協議会、地区振興会へ交付し、地域づくりやお礼品の贈呈に活用できるようにする。近年、各自治体間で、お礼品の内容で寄付を増やす傾向にあり、本市も、特段に取り組む。

議第21号

いじめ問題対策連絡協議会等設置条例制定について

問 いじめ問題に対する現在の対応について。
答 学校でいじめの問題等があった場合、教育委員会へ報告し、まず学校で解決を図る。また、保護者から直接、教育委員会等に連絡があった場合は、学校から詳細な報告をさせ、教育委員会が事実関係を把握し、その後の対応について協議を行い、必要に応じて校長を教育委員会に呼んだり、教育委員会が学校に出向き対応している。
要旨 学校からの報告の遅延が危惧される。早急な対応が求められる案件が発生した場合の対応として教育委員会の中に児童・生徒や保護者から直接相談できる窓口を設置するように要望した。

議第27号

高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画の策定について

問 今後、認知症患者が増加すると思われる。受け入れ態勢について。
答 認知症対策は症状に応じて在宅可能な方から施設入所が必要な方までいる。グループホームは、すべての圏域に設置してあり、まずはそこで受け入れを行う。また、認知症を持ち、介護度が進めば、特別養護老人ホームへの入所、あるいは入院も考えられる。なお、施設の整備については、地域密着型の特別養護老人ホームの整備を計画している。

議第80号

指定管理者の指定について

問 倉岳椎茸生産施設の指定管理者の指定について。
答 平成23年4月から地元建設業者の長尾建設が指定管理者として施設の管理や椎茸の生産・販売と併せて椎茸生産技術の向上と天草椎茸のブランド化の推進をされている。専属従業員1名とパート従業員5、6名で運営し、販売収入の増加に伴うパート従業員の雇用も拡大していく。4年間指定管理を行ってきた長尾建設より「しいたけ生産組合倉岳」として独立運営したい申し出があり、指定管理者として指定する。

平成26年度一般会計補正予算

歳出

総務費

問 移住定住促進対策事業で、新たに設置するコーディネーターの役割について。
答 現在、移住定住に関する、問い合わせ件数が増加傾向にあり、対応に苦慮している。今後、きめ細かい対応が出来るよう、本市に移住しておられる方に、コーディネーターとなつていただき、実体験をもとに、市とのつなぎ役になっていただくもの。

農業費

問 婚活事業委託料について。
答 平成26年度から実施している本事

る60名の雇用とスタッフ10名程度の雇用を行う。川崎市においては、生活保護者100人を雇用に結びつけて保護費の削減を行った実績がある。
また、五和支所2階フロアでは(株)日本トータルテレマーケティングが使用する。コールセンター業務を行い60席設置し、オペレーター100名の雇用と管理者10名の雇用を行う。



平成27年度一般会計予算

歳入

問 農耕用小型特殊自動車の課税免除による影響額について。
答 課税免除対象となる農耕用小型特殊自動車の登録が1,050台。総額168万円の減額になる見込みだが、軽自動車税の登録台数が増加傾向にあり、歳入総額は増額になる見込みである。

歳出

地域振興費

問 地方バス運行等特別対策補助金の、今後の見直しは。
答 地方バスの運行補助は、乗車人員の減、燃油費等の高騰もあり、毎年1,000万円から2,000万円ほど増額している。補助金を減額した場合

路線が消滅する可能性もあり、市民生活の重要な交通手段を維持する面からも、(株)産交バスと協議を重ね、対応していく。
要旨 崎津集落の世界遺産登録も目前に控え、交流人口の増加が想定される現在、基幹路線はもとより、本渡市街地を走る「のつてみゆうカー」も、随時在り方を見直していくよう要望した。
生活保護費
問 家計相談支援事業について。
答 市内3か所に生活困窮者自立支援事業の総合相談窓口を設け、相談内容により各種支援を行うもの。相談内容が家計の収支に関する場合は、家計相談支援事業により家計再建に向けたきめ細かな相談、支援等を行う。

問 特定不妊治療費助成の対象病院について。
答 熊本県特定不妊治療費助成事業の対象者として、ことから熊本県の指定病院である県内7か所が対象である。(内訳は、熊本市内6か所、八代市内1か所)
農業費
問 木成りあまくさ晩柑の振興対策事業について。
答 平成27年度からの新規事業。河内晩柑を天草果樹の特産品として推進し、5月と6月に出荷し、貴重な



夏場の果実としてブランド化を高める。販売価格が基準単価を下回った場合に価格補償を行う農協に対して助成し、農家の経営安定を図り、担い手が安心して生産できる体制を目指す。
林業費
問 天草産材利用促進事業補助金について。
答 天草産材を利用した木材住宅を新築、増改築される市民に対し、建築経費の一部助成を行うもの。平成27年度より、補助限度額を20万円から30万円に、また、森林認証材を50パーセント以上使用の場合、30万円を40万円へ限度額を拡充する。



商工費

問 (仮称)天草宝島物産公社運営委託料について。
答 (仮称)天草宝島物産公社は、天草産品の取引・受発注の一元化と天草地域の情報発信を一元化するもの。販路の開拓と天草ブランドの確立を図ることを目的に設立する。公社の構成メンバーは、農協、漁協、商工団体等で構成する天草市インショップ協議会



業が国の緊急支援交付金事業に該当し、平成27年度へ繰越を行う。
本年度は男性登録者38名、女性登録者5名で、少人数の婚活イベントを開催した。女性の登録者数が少なかったため、女性の相談員を新たに登用して女性登録者を増やし、少人数による農産物の収穫体験など出会いの機会を増やしていきたい。

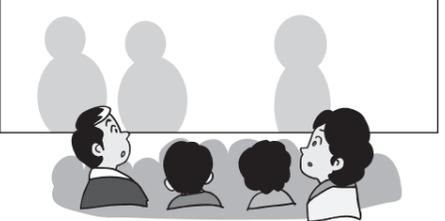
商工費

問 地域創造支援施設整備事業について。
答 誘致企業2社が市の公有財産を活用することになり、市が建物の改修を行ってから貸し付けるための施設整備費である。
旧御領鬼池小学校校舎は、(株)アイエスエフネットが、障害者やニート、引きこもり、生活保護者などの就労困難者の雇用を創造する事業を行う。当面は就労支援A・B及び移行型によ

が、任意団体としてスタートし、「起業創業・中小企業支援センター(アマビズ)」と連携しながら、公社の事業内容等を検討し、最終的には法人化を目指す。
問 文化的景観形成事業補助金について。
答 文化的景観区域内の景観保全の取組みを支援するため平成25年度から補助制度を設け、家屋等の修景について、補助率50パーセント、限度額は、崎津街区が120万円、それ以外の区域は80万円で実施している。平成27年度より、特に世界遺産コアゾンは重点的に保全を進めるため、補助率60パーセント、限度額290万円として拡充する予定。すでにコアゾーン6件、バツファゾーン5件の相談を受けている。

社会教育費

問 市民シアター事業について。
答 天草唯一の映画館である「本渡第一映画」において、2ヶ月に1回2週間程度上映する。入場料金は、大人一人500円とし、子どもの料金については検討中である。



地方創生戦略の推進について



赤木 武男 議員

赤木 アマビズ「起業創業・中小企業支援センター」設立の趣旨と目的は、地域経済発展にどうつなげるか。また地方版総合戦略策定の捉え方を伺う。

市長 1次産業から6次産業を支援するため、アマビズを設立した。地域の中小企業が元気になり、起業家が増えてくれば、地域の活力も上がってくる。具体的には、相談者の強みを引きだし、課題解決策を提案し、一緒になって挑戦していくほか、新たな事業展開も促し、メディア戦略、SNSを活用した販売戦略も展開したい。地方版総合戦略策定では、市が策定する各計画等の諮問・答申という従来の審議会ではなく、広く市民のご意見を伺い、また、産業界・行政・教育・金融・商工などの機関と市職員で「地方創生会議」を設置し、幅広い意見を集約し、雇用創出など独自の戦略を展開したい。

案の千円券と500円券の組合せは、経費面から千円に統一したい。また、就学前の子育て家庭には、商品券による支援策を前向きに検討する。

【世界遺産登録推進に向けた取り組みについて】

赤木 世界遺産登録に向け、広報・宣伝活動や崎津集落を含む観光ルートの整備および松島料金所にETCの導入はできないか。観光文化部長 各種メディアを活用した情報発信や観光誘客の広報活動は、観光プロモーション事業・観光整備事業を推進する。建設部長 県は採算面からETC導入は検討していないが、国道渋滞の解消は重要で県と連携を図る。

赤木 天草エアラインとJAL（日本航空）とのコードシェアの運営効果を伺う。

地域振興部長 費用負担はなく、日本航空の時刻表掲載や予約システムで販売されるため、天草空港の認知度が向上し、利用者の増加が見込めるほか、マイル加算もある。今後天草の観光資源を生かした旅行商品の造成に期待する。

地域包括ケアシステムについて



若山 敬介 議員

若山 介護保険制度の改正は、高齢者にとどのような影響があるのか。高齢者支援課長 地域支援事業の充実・予防給付の見直し・特別養護老人ホーム入所基準の見直しが主体となるが、3年間で移行する。サービスに特段の変化はない。

若山 地域資源の創出とは何か。高齢者支援課長 地域支援事業にNPO法人・社会福祉法人・民間企業等が参入できる。育成・活動支援する。

若山 介護サービス事業所の職員の処遇改善は行われるのか。高齢者支援課長 今回の改正で現行の加算に上乗せ評価を行う区分が創設された。

若山 システム構築に公立病院はどのような役割を果たすのか。病院事業部長 退院される患者さんに対して、職員が介護サービス事業所を紹介し調整を行っている。

若山 専門の職員配置により、決め細やかな対応をとって欲しい。

【市民の可処分所得向上について】



市 市への取り組みはあるか。市 市の発注する工事等において、関係団体に賃上げ等をお願いを要請していきたい。

若山 就労困難者や障害のある人への対応はどうするのか。市 今回誘致した企業と、ユニバーサル就労に取り組む協定を締結し、雇用の場を確保する。

【職員の資質向上に向けて】

若山 今後、市民サービス向上に向けた職員の研修や適正配置はどうして行くのか。市長 専門的な知識の習得や、企業支援に向けた派遣等を考えている。常に市民に対して「気配り」「目配り」を忘れず、市民の満足度を向上させていきたい。

女性と若者の活躍への支援を



蓮池 良正 議員

蓮池 市役職者にしめる女性の割合を高める努力が言われて久しい。一応、審議会の構成メンバーでは女性の比率が上がってきている。到達状況をお示しいただいて、自己評価と課題の説明を求めます。

男女共同参画課長 市管理職における女性登用は、合併当初の9.8%から今年度23.2%と県内2番目となっている。スキルアップセミナーを開催し、職場や地域で女性が自己実現できるように支援。2つ目の課題は、政策や方針決定の場に参画する女性が少ない。「女性人材バンク」を設置し、方針決定の場へ多くの女性を推薦する等支援。

【出産後ヘルパー派遣制度を】

蓮池 子育て支援の充実の最初の時期に登場する制度として、出産後のホームヘルパー派遣制度の創設を求めたい。すでに昨年から実験的に取り組まれており、安心して赤ちゃんを産み育てていただくためにも、出産と育児を応援するホームヘルパーの役割は大きい。



どのような支援が出産を控えた女性たちの要求になっているか、丁寧に把握していく必要がある。男女共同参画課長 市民活動団体「天草お産路」より「産前産後サポート事業」の提案をいただき、9か月間モデル的に実施されている。「産前産後のサポート事業」が天草市内全域に広がるよう、検討してまいります。

【それぞれの高校と市の連携】

蓮池 大半の生徒は高校を卒業すると天草外の学校や社会に進学や就職して巣立ちます。高校生までのうちに郷土天草について学び、崎津の世界遺産やジオパークについても郷土学習が必要。教育部長 本市の将来を担う人材を育てる高校として、在学中にふるさとへの良さが実感できるように地域と一体に支援していく。

施政方針について



浜崎 義昭 議員

【観光振興について】

浜崎 天候に左右されることなくイベントを行える施設・台場の漁港水揚げ施設を地域活性化の中心拠点としての活用・ジオパーク推進・周遊ルート設定・特産品アピール・商品開発を行うための施設・外国人観光客の方にも十分対応できる、公衆トイレの準備等。経済部長 常設テント及び水揚げ施設はイベント施設としては困難。商品開発を行う施設は考えていない。周遊ルート、公衆トイレ等は、取り組んでいく。

【水産業振興について】

浜崎 水産業の危機は、天草の危機ととらえている。磯焼け、藻場再生予算の拡充。里海づくり報告会、今後の取り組み。稚魚放流、漁場整備・漁業者による資源管理、漁業者の所得向上・漁港の施設整備の今後の計画・海からの災害、震災に備えて漁港の施設整備・急速冷凍技術の調査、研究、課題等について話し、漁業就業確保対策、後継者対策及び既存の漁業従事者対策等については、天草の多くの漁業者は、後継者がいるにもかかわらず、生活できない状況下である。新規で漁業を行うとなれ

ば、船体の確保、船体の装備、漁具の確保など少なくとも金額が必要となる。レジャー船と漁船は装備が、そうとう異なる。「新規就業者の支援体制を整備する」ことも大事だが、既存の漁業後継者に何らかの支援対策を検討すべき。経済部長 後継者支援については、漁業者を取りまとめる漁協の尽力に期待している。

【災害に強いまちづくりについて】

浜崎 住民が災害に遭遇した場合、避難道等の維持管理・整備は把握しているか。震災等が発生した場合住民への緊急避難誘導は、徹底できるか。近年の消防団員の推移、消防団員の確保、団員の環境の整備は、出来ているか。住民が安心できる態勢は、整っているか。学校や病院・社会福祉施設、大規模集客施設などだけでなく、すべての住宅の耐震診断・耐震補強は万全か。狭い道路の早急の整備が必要、今後の整備計画は、出来ているか。総務部長 消防団員は、減少傾向。団員の環境改善を進めていく。「災害に強いまち」の形成に向け、努力していく。

学校統廃合に伴う影響について



勝木 幸生 議員

勝木 五和中小学校における小中一貫教育（連携）の一年間の進捗具合は。

教育部長 小中学校の教育目標・経営の方針は一貫性を持たせ、9年間を見通した学校運営を行う。取組みとして、一貫教育推進委員会・学力充実部会等の組織の設置。小中学校相互の乗り入れ授業の実施。小中合同校内研修の開催等を通して、一体的な指導の充実を図っている。

勝木 スクールバスの運行と学校跡地の管理のあり方は。

教育部長 児童生徒数等の現状と将来予測を踏まえ、保護者・学校側と協議し、児童生徒の安全と効率性を図りながら運行したい。学校の管理等は、地域の皆様の協力を得ながら、拠点施設・利用施設・利用頻度に応じて、清掃・除草など実施回数を設定する。樹木等の剪定・伐採は計画的に行う。

【生活困窮者自立支援法について】
勝木 生活困窮者自立支援法に対しての本市の取組み方は。



市長 法が制定され1年半、県のモデル事業として、社会福祉協議会と連携し取り組んでいる。本年度から、自立相談支援事業・居住確保給付金と合わせ、就労準備支援・家計相談支援事業を行い、7名の相談員で対応し、民生員・区長・事業所・市役所等、包括的な相談支援体制を構築し、地域ネットワークの強化を図り、支援を行っていききたい。

【将来の墓守りの考えについて】

勝木 人口減少社会の中で、将来の墓の管理の取組み方は。

市長 26年度より、社会福祉協議会で、墓の管理について、調査研究をし、要綱やパンフレットを作成。4つのNPO法人と管理サービスを行う団体等、組織化に取り組み本市以外在住の方々にも周知を行いながら実施して行きたい。

観光振興について



浜崎 昭臣 議員

浜崎 南の玄関口「出水駅」での天草の売り方が、案内も含めあまりにもお粗末である。進捗状況、今後の計画をお尋ねする。「銀座熊本館」を天草のさらなる知名度アップに有効活用すべきと考えが如何か。

観光文化部長 シャトルバス乗り場へ誘導する案内看板を、二ヶ所3月27日設置する。出水駅内での案内誘導についても要望中。「銀座熊本館」は、首都圏での情報発信の拡大や認知度向上のため、さらなる活用に努める。

市長 出水駅に関し、利用促進協議会に出席して議員の思い等を伝える。新幹線内での車両アナウンスについても、運動を展開していきたい。



市長 下田温泉の地質学的研究については、既に発表されている研究成果をもとに、再調査を含め、大学や研究機関の協力を得ながら、下田温泉の成り立ち、陶石との関係について伝え、崎津集落や周辺の見どころと併せたPRに取り組みたい。

【漂着物学会・南天草大会について】
浜崎 漂着物学会が昨年沖縄・石垣島で開催された。本年15回大会は徳島に決定、来年16回は北海道予定。17回大会を、天草で開催するお考えはないか。

市長 徳島大会へ職員を派遣し、17回大会の誘致を検討したい。

【天草ジオパークについて】

浜崎 各地に点在するジオサイトの中に「下田温泉」がある。温泉とジオパークの関連をもっと掘り下げ、調査学術研究する事は、世界一ともいわれる天草陶石との関連解明になり、さらに世界遺産「崎津集落」に隣接していることで相乗効果が大きい。正式調査を強く要望する。

市長 下田温泉の地質学的研究については、既に発表されている研究成果をもとに、再調査を含め、大学や研究機関の協力を得ながら、下田温泉の成り立ち、陶石との関係について伝え、崎津集落や周辺の見どころと併せたPRに取り組みたい。

天草市の一体的発展と支所機能充実について



本田 武志 議員

本田 上天草市では、「前島総合開発」として、大規模な観光施設整備が進んでいる。また、苓北町においても、イルカウォッチング発着基地の整備が計画されていると聞くが、五和町二江地区に計画されている（仮称）「イルカセンター」の計画は急ぐべきではないか。

市長 建設には、地元の皆様のご理解とご協力が重要である。国・県との協議を進め、準備ができた次第、地元と一体となって、計画を進めたい。

本田 農業振興において、「飯の食える農家」の育成が重要である。天草の気候風土を生かした柑橘栽培の振興が望まれる。「デコボンハウス」への補助金の拡大を検討すべきでは。

市長 従来の補助事業を精査しながら、農協等と連携して、今後の施設園芸の方向性を定めたい。また、地方創生の総合戦略として、国へ提案していきたい。

本田 「支所機能の充実」の概要、また、支所で決定できる予算の範

囲が、具体的に、本年度とどう変わるのか。
市長 「支所要望対応予算」の新設や「簡易な修繕等」は、支所で所管することとした。支所で執行できる予算が、9支所合計で、平成26年度の2,800万円から、平成27年度は、1億1,600万円へ増額される予定。



有明町大浦の屋根かけデコボンハウス

牛深における地方創政策について



益田 政昭 議員

益田 天草は「風景街道」「ジオパーク」の認定を受け、平成28年には世界遺産登録が期待され、五橋誕生50周年となる。県との協力で「VISTアまくさプロジェクト」により、全国的に天草を発信する。この観光資源を最大限活かすことが天草の創政策となる。天草全体の観光振興策のお考えは。

市長 日本は円安による外国人観光客も増えている。道の駅などを整備し、天草全体に回遊性のある受け入れ態勢を作るのが重要だ。

益田 世界遺産登録では多くの観光客が期待できるが、天草観光の面白味は周辺部にもある。周辺部の整備の遅れはその効果を継続できない。その一つに交通アクセスの問題がある。牛深く歳の元間のフェリーについて、現状1往復120分、1艘体制で、人や車の移動が数的・時間的に不便だ。県や市の政策として2艘体制にすることはできないのか。（長崎県では既に実施）

市長 長崎県の場合、社会資本整備資金を利用し、島鉄フェリーに

10億円を投入。天草市として三和商船さんとは、何度か話してきただ。三和フェリーは天草に入るための重要なルートの一つと考えている。ただ、2艘にすることは現在運航している事業所のことも含めて、いろんな角度からの検討が必要だ。

益田 観光客に回遊性を持たせるためには天草周辺部の整備が不可欠だ。4月には移転する漁協水揚げ施設は「港オアシス」にも認定されたエリアにあり、ここに物販・食事・宿泊等の観光拠点の整備を多くの市民は望んでいる。官民協力してこの跡地の再開発は必要だと思いが。

市長 漁港などの敷地利用は、水産庁も全国的に多くの漁港で問題を抱えている。開発には利用目的などを含めた法的な問題があり、難しい部分がある。漁協の意向を重視しており今後の検討課題だ。



政務活動報告

2月4日 政友会（浜崎昭臣・平山泰司）、柴田 誠

茨城県日立市 地域公共交通の取り組みについて

視察報告

天草市の課題である地域公共交通の取り組みや、デマンド型乗合タクシーについて視察を行いました。

地域公共交通の取り組みでは、地方バス維持費補助金の増加や路線バスの維持確保のため、地域住民とバス事業者が路線バス活性化についての話し合いを行い、地域住民からは、地域住民が望む停留所の新設、買い物ダイヤの設定などを提案。バス事業者からは、ノーマイカー運動、地域一丸となった乗車促進運動が提案され、両者でパートナーシップ協定を締結し、協定後は、住民が乗車促進企画などを作成、各自治会が協力し、公共交通は地域の財産との考えに至り、乗車率も向上していました。

また、デマンド型乗合タクシーについては、過疎地での路線バス廃止に伴い、社会福祉協議会が過疎地有償運送を提案し、8人乗りワゴン車による試行が行われ、利用者からは「病院や金融機関へ一人でいけるようになった」と好評であったことから、試行期間を延長、自治会ごとに懇談会を実施し、地域でNPO法人を設立し、乗合タクシーを運営していました。

NPO法人の運営費として、全世帯より年間2,000円の会費を徴収し、外出1回が300円で、過疎地有償運行（デマンド方式）を行っており、運転手も地域の方が行っているため、少々の時間なら待ってもらえるなど融通が利くので、利用者も増加しているとのことでした。

視察を終えて

天草市でも、乗合タクシーの試行運転が行われているが、利用者も少ないので、今後は、地域での話し合い等を含め、地域交通は地域の財産と認識し、地域、住民主導の乗合タクシーをと考えさせられました。



2月17日 天政会（本田武志・脇島義純・池田裕之・勝木幸生・宮下幸一郎・鶴戸継啓・西村尚武）

兵庫県三木市 中小企業サポートセンター

視察報告

天草市が本年4月に「起業創業・中小企業支援センター」を発足することから、平成26年4月から「中小企業サポートセンター」を設置している三木市において、設立の背景や市の関わり方について研修を行いました。三木市は、市内産業のほとんどが中小企業であり、3,300の事業所が存在していました。同サポートセンターは市の直営で運営し、コーディネーター5名、事務補助1名。コーディネーターは三木市以外の人材で、中小企業診断士の資格を持つため、企業同士を結び合わせる力が発揮されており、成功事例として、資金の手当てや業績が向上した事業所も多くありました。

視察を終えて

これまでの、一事業者単独での6次産業化を考えていたが、三木市においては生産者と加工業・販売業をネットワーク化し、単独での6次産業化から地域による6次産業化が実現しているため、見習うべきではないかと感じました。

また、本市では「Ama-biZ」を設置したことで、事業者の収益アップや雇用の促進が期待される大事な時期であるため、議会としても事業者の方々にとってプラスとなるような提言等を行っていきたいと思います。



京都府綾部市 子育て支援策・空き家対策について

視察報告

綾部市は、「子育て世代が住みたい田舎ランキング第1位」であり、市独自の子育て支援策が移住者の増加に結びついているのか、また、空き家対策における先進的な取り組みについて研修しました。

主な子育て支援策として、①子育て中の保護者が「ほっ」とできる、親子でくつろぎ楽しめる場と情報を提供する「ほっとランド事業」、②市民グループなどの子育て団体への補助事業、③子育てに関係する情報を一括して情報提供するホームページ「子育てネット綾部」や子育て世代を対象としたスマートフォンアプリ「ちやいるす」など。

空き家対策における先進事例として、①空き家提供者へ5万円の謝礼を行う「空き家流動化報償金給付制度」、②市が空き家を10年間無償でお借りし、トイレの水洗化等の改修を予算内で実施し、定住希望者へ賃貸する「定住支援住宅の整備」、③空き家の売買・賃貸契約時の法的手

続きを市内宅建業者へ委託する「宅建事業者との連携」、④定住促進について、市民・事業者・行政が役割を明確化し市一丸となって取り組むための機運醸成を図るための「定住促進条例の制定」など。

視察を終えて

子育て支援策については、子育て世代のさまざまな悩みや経験不足を解消し、積極的に子育てに参加できるように支援する体制が構築されているように感じました。情報提供に関しても、天草版子育て支援サイトの開設や健診や予防接種の記録・管理が簡単にできるスマートフォンアプリの開発など検討する必要があるように感じました。

空き家対策についても、空き家提供者へ対する謝礼や市による定住支援住宅の整備等、参考になる事例が大いにありました。

天草市議会では、議員が政策調査研究等の活動のために支出する費用として、条例等を定め、政務活動費を支給しています。

例えば、類似市の政策について行政視察を行う場合は、会派制を導入していることから、基本的に会派で視察を行います。議員個人として行う一般質問等における政策提言の参考にもなっています。

なお、政務活動費は使途基準を定め、収支報告の際には報告書及び領収書の添付が義務付けられています。

1月23日～24日 市民クラブ（大塚基生・益田政昭）

茨城県石岡市 ふるさとづくり寄付金制度について

視察報告

市のふるさと納税制度である「天草市ふるさと応援寄付金」が、4月から内容を一新してスタートすることに伴い、先進地である石岡市を視察しました。

同市は、平成20年度から当事業をスタートし、同25年度から寄付金のお礼に地元特産品を送るシステムへ大幅な見直しを行い、地元事業所と協力し、16事業所・36品目を記念品として設定。さらに、同26年度は記念品の選択肢を25事業所・59品目に拡大。記念品の選択は、食品中心の地元特産品が99.7%と最も多いとのことでした。

■20年度以降の寄附件数と金額

	件数	金額
平成20年度	3件	9万円
平成24年度	23件	80万円
平成25年度	3,078件	3,530万円
平成26年度	19,625件	2億800万円

同26年度ふるさとづくり寄付事業費の支出は、収入（2億800万円）の64%に当たる1億3,296万円。その内訳として、記念品代9,710万円（73%）、経費3,586万円（27%）。

収入から支出を差し引いた約7,500万円が、実質的な市の収入となるそうです。

視察を終えて

石岡市は、協力事業所や品目を拡大したことで、大幅な収益に繋がっている。寄附をいただくことによる本市の収益アップが目的ではなく、寄附に対して地元産品を送ることによって、地元産品の収益アップにも繋がるので、今以上に積極的な商品開発や宣伝を行うべきではないかと感じましたので、議会でも取り上げていきます。



▲新たに作成した天草市のお礼品カタログ
寄附方法は、『ふるさとチョイス 天草市』で検索。PRにご協力ください!!

土日集中セミナー ～「里山資本主義」の今とこれから～

講師：藻谷浩介氏（日本総合研究所 主席研究員）
中島浩一郎氏（銘建工業株式会社）

視察報告

持続可能な地域づくりとそこから生まれる新しい“幸せ”づくりの可能性について学ぶため、東京都の地域活性化センターで開催されたセミナーに参加しました。

藻谷氏からは、①一次産業（農林水産業）の再生が不可欠であること、②地方にある資源を工夫して製品化し、地方に多くの利益をもたらすこと、③若者が定着できる田舎づくりを目指し、出生率を2以上に保つこと、④自給自足ができる田舎は消滅しないので、知恵を出し合うことの重要性等について講義を受けました。

中島氏からは、銘建工業の事業目的として、①木材の

特殊加工（※CLT）により3階以上の木材建築を事業化したこと、②木材からの廃棄物を利用したバイオマス発電を事業化したこと、③廃棄物から木質ペレットを製造、地域に暖房用燃料として販売していることなど、森林のリサイクルスケジュールを考え、持続可能な経営と地域活性化についての講義を受けました。

視察を終えて

消滅可能性都市の話ばかり気にしていた私たちにとって、藻谷講師の「自給自足ができる田舎は消滅しない」との言葉が印象的でした。本当の豊かさとは何かについて考えさせられるよい機会となりましたし、本市も「ないものねだり」から「あるもの探し」への転換が必要な時期にきたように感じます。

※CLTとは：（クロス ラミネイテッド ティンバー）の略。
集材材は、張り合わせる板の繊維方向が並行方向に張り合わせるのに対して、CLTは、繊維方向が直交するように交互に張り合わせる。特性として、90～210mm程度の厚みが一般的であるため、断熱性に優れ、高い耐震性を確保することが見込まれる。中層建築、大規模都市建築にも利用可。

◆行ってみよう！

議会の本会議は、基本的にどなたでも議場に入って傍聴できます。市政の動きや状況などを実際に見聞きしてみませんか。皆さんの傍聴をお待ちしております。

傍聴者からのメッセージ

議会傍聴ってなんだかちょっと気にはなっていたんですが、なんとなく行きにくいっていうか、敷居が高いっていうか、私なんかが行ってもいいのかなあ…っていういろいろ気になっちゃって、結局これまで一度もあの「議場」という所に入ったことはありませんでした。でもでも、行ってみると、一瞬「緊張」はしましたが、誰も意地悪する人も無く、怖いわけでも無く、普通に座ってオッケーでした。静かに質疑応答を聞いてみると、自分が興味を持っていた話題が出てきたりして、(天草市では、こんなふう考えているんだ)ということが、実感としてよく分かり、と



中村町
侯野智子さん

でも自分の生活に繋がっている場なんだなあ、と改めて感じました。まだちょっと私には、敷居が高い感じはしますが、一度行ってみると前よりは行き易くなったような気がします。

もし、6月に議場で私を見かけても、皆さん「また来た！」とか言わずに、優しくしてくださいね！そして、ちょっと興味あるかも？と思っておられる方、ぜひぜひ議会傍聴に出かけられてみてはいかがでしょうか。きっと、意外に面白く聞けて、皆さん、あたたかく迎えてくださると思いますよ。

議会からお知らせ

◆読んでみよう！

あまくさ市議会だよりは、5月、8月、11月、2月の15日に発行します。ぜひ、皆さんの生活に密接に関わる議会の活動を知ってください。広報広聴委員会においても、読みたくなるような紙面づくりに心がけていきます。ご意見等もお待ちしております。



◆見ってみよう！

議会では、本会議の様様をケーブルテレビや議会のホームページにおいて中継しています。次の定例会(6月)からは、スマートフォンやタブレットでも視聴できるようになりました。また、録画映像も配信していますので、ぜひ、ご覧ください。

天草市議会

検索

天草町大江漁港付近にあるお万ヶ池。その昔、お万という美しい女性が大蛇に飲み込まれて沈んでいるという伝説の池。周辺には、お万の像や大船があり、遊歩道やトイレも整備されています。

5月31日(日)には公園一帯において「ジャガジャガ祭」が開催されます。イベントも盛りだくさんです。

ぜひ、ご家族そろって伝説の池へお出かけください。



お万ヶ池公園

(天草町・大江)



編集後記

平成27年度がスタートしました。国の現政権では、地方創生を成長のカギとうたっています。これをどう利用し、どう展開するかは、地方の課題解決に向けて行政の手腕が問われるところでは。

天草市では誘致企業に対し、施設を整備する等、手厚い支援をされています。雇用の場として期待されるのでありますが、地域を支え、人を育て、生活を支えてきた市内の事業所を輝かせるための施策も考えたいものです。



天草市議会広報広聴委員会

柴田 誠
船辺 修
平山 泰司
濱洲 大心
副委員長
益田 政昭
中尾 友二
蓮池 良正
宮下幸一郎

宮下 幸一郎